

諸外国における主な戦没者追悼施設について(未定稿)

イギリス		ドイツ		フランス		イタリア		アメリカ	
名称	セノタフ (the Cenotaph)	無名戦士の墓	ノイエ・グアツハ (Neue Wache)	ポツ	無名戦士の墓	祖国の祭壇	無名戦士の墓	ワシントンDC郊外	
所在地	ロンドン	ロンドン	ベルリン	ポツ	パリ	ローマ	ワシントンDC郊外		
施設等の概要	ホワイトホールと 呼ばれる官庁街に ある高さ10m、幅 4mの記念碑。 Cenotaphはギリ シヤ語で「空の 墓」の意味。	ウエストミンス ター寺院内にあ り、第1次大戦の 無名戦士1名が埋 葬された墓。	無名戦士1名と強 制収容所の無名犠 牲者1名が埋葬さ れた建造物。	第1次、第2次大 戦の戦争犠牲者が 埋葬されている記 念碑。	凱旋門下にある、 第1次大戦の無名 戦士1名を埋葬し た墓。	建造物の一部 (ヴァイツスマーリ オ・エクスナー 2世記念堂の正面 階段を上がつた祭 壇部分)。	アーリントン国立 墓地内にあり、 (1)第1次大戦、 (2)第2次大戦、 (3)朝鮮戦争、(4) ヴェトナム戦争の 無名戦士を祀る 墓。(現在は、ヴェ トナム戦争を除く各戦争の 無名戦士1名ずつを大理石 石板の下に埋葬。)		
追悼対象者	第1次大戦以降の 戦没将兵(警官、 消防士等戦争起 因で死亡した者も 含む)	第1次大戦以降の 戦没将兵	戦争と暴力支配の 犠牲者	戦争と暴力支配の 犠牲者	第1次大戦以降の 戦没将兵	第1次大戦以降の 戦没将兵	第1次大戦以降の 戦没将兵	第1次大戦以降の 戦没将兵	
設立時期	1920年11月11日	1920年11月11日	1818年		1920年11月11日	1921年	1921年	1921年11月11日	
所有者、 管理者	文化・メディア・ スポーツ省	イギリス国教会	ドイツ歴史博物館 (連邦出資の有限 会社)	ドイツ戦没者墓地 管理財団	国防省	国防省	国防省	陸軍省	
備考	碑文は 「Glorious Dead」 「1914-1918」 「1939-1945」。		碑文は 「戦争と暴力支配 の犠牲者へ」。統 合されたドイツに おける中心的施設 となった。	碑文は 「戦争と暴力支配 の犠牲者へ」。	碑文は 「祖国のために戦 死した1フランス 兵士ここに眠る。 1914-1918」。			碑文は 「神のみぞ知る亡 きアメリカ兵1 名、うちここに眠 る」。	